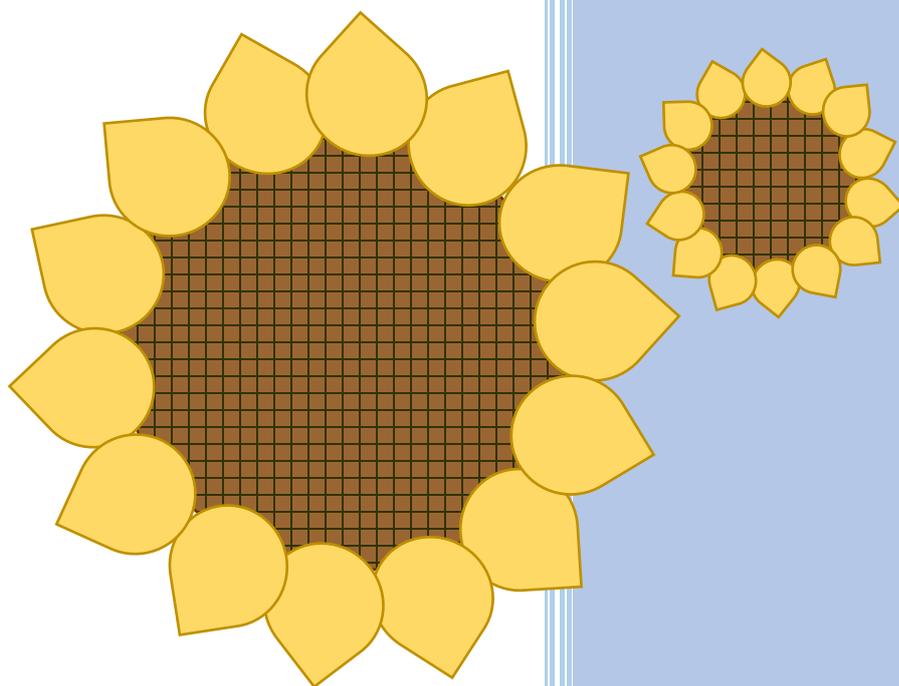


重 要

2024

旭が丘地区まちづくり計画

～ 未来への世代に引き継げるまちを
みんなで作ろう！～



旭が丘地区まちづくり協議会

2024年3月

目次

旭が丘地区が住みよいまちであるために	2
1 まちづくりの基本目標	3
2 旭が丘地区の姿	4
(1)地区の位置や人口等	4
(2)地区の人口推移や人口構成の変化	5
(3)住民の意識（アンケート結果より）	6
(4)まちの宝物と課題(アンケート結果より)	10
3 「まちづくり計画 2020」(2020～2023 年度)の振り返り	11
4 計画推進にかかる旭まち協の組織体制	13
5 各部会の目的・重点取組と活動方針	14
(1)目的・重点取組	14
(2)4年間(2024～2027 年度)の活動方針	15
総務・広報部	16
生活福祉部	20
文化スポーツ部	25
安全部	29
=== 地域計画策定ワークショップの様子 ===	32
=== 各事業の様子 ===	34

旭が丘地区が住みよいまちであるために

～旭が丘地区の将来像～

(略) これからの人口減少、少子高齢化と共に市の財政が厳しくなると言われて久しいかとおもいます。

そのような状況の中で今までのように全てを市に委ね続けるのは困難であることは明白です。

今、旭が丘地区にいる皆さんが、旭が丘に住んで良かった、これから生まれてくる子供たちが、旭が丘に生まれて良かった、と思うまちをつくりあげるにはどのような体制や取り組み方が良いのかを2年間検討重ねてきました結果、本日皆さんに提案できる協議会までたどり着きました。

次の世代の人達に旭が丘の「住みよい、住んでよかった」を引継ぎができる旭が丘地区を築きたいと思います。

(平成30年5月20日、旭が丘地区まちづくり協議会設立総会、当時の水谷哲生会長の挨拶より)

2020年(令和2年)3月に「旭が丘地区まちづくり計画」を策定し、地域の皆さんが「住んでよかった」と思えるまちづくりの一步を踏み出してきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大等により私たちの生活は一変し、事業計画の変更・中止せざるを得ない状況となりました。そのような状況の中、旭が丘地区の皆さんがこれまで以上に愛着と誇りを感じ住み続けたいと実感できるよう、現行の「旭が丘地区まちづくり計画2020」(2020～2023年度)が計画期間満了を迎えることから本計画を見直し、新たに「旭が丘地区まちづくり計画 2024」(2024～2027年度)としてまとめました。

みんなで力を合わせて、
住みよい旭が丘をつくりましょう

旭が丘地区まちづくり協議会



1 まちづくりの基本目標



旭が丘地区まちづくり協議会(略称「旭まち協」)は、住民の手によるまちづくりを進めていくために「スローガン」と「目標」を掲げています。

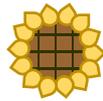
《《《 スローガン 》》》
旭が丘地区の住みよい環境を更に高め
未来への世代に引き継げる地域を
みんなで作ろう！

《《《 目 標 》》》

- 地域の振興、住民の交流、啓発を高める
- 地域が連携した安全で安心なまちづくり
- 健康及び福祉の増進
- 青少年の健全育成ができる取り組み
- 文化・スポーツの推進
- 協議会の広報活動と人材の発掘

この目標の実現には、旭が丘地区の現状を踏まえ、宝物を生かしながら、計画的にまちの活性化や課題解決に取り組んでいく必要があります。

2 旭が丘地区の姿



(1)地区の位置や人口等



【地区旗】

意匠：ひまわり

意味：広野に夏の太陽をうけてたくましく
咲くひまわりの花。この地にふさわし
い。地色「あお」は天をあらわす青色、
ひまわりは明るい花を表現した。

(引用：市民体育祭地区旗説明資料より)

◇世帯数

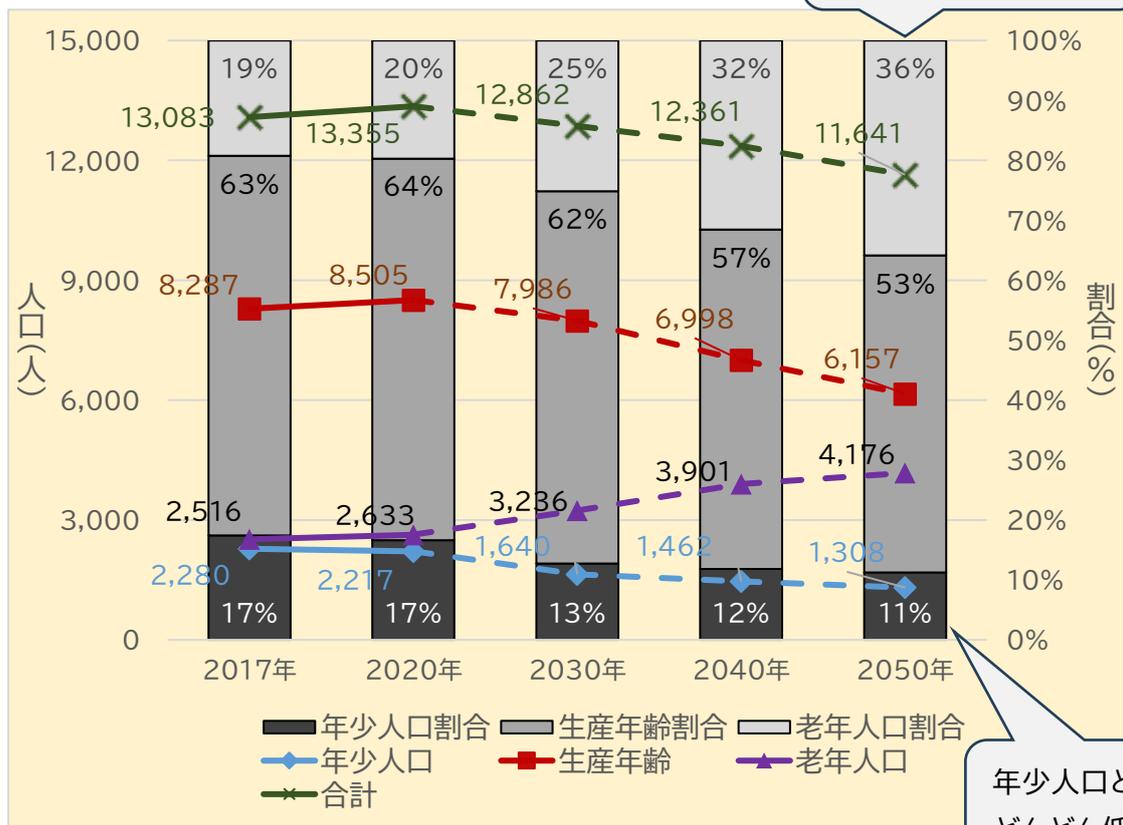
約 5,600 世帯

◇人 口

約 13,000 人 (うち、男：約 6,300 人、女：約 6,700 人)

(2)地区の人口推移や人口構成の変化

鈴鹿市内でも人口が多い旭が丘地区ですが、下のグラフのように人口は減り、人口全体に占める働き手世代や18歳以下の子どもたちの割合も低くなっていくことが予想されています。



これまでも、旭が丘地区では、自治会活動や子どもの健全育成にかかる活動、防災訓練、盆踊りなど、住民自らの手で住みよい地域にしていくための活動が行われています。

しかし、今、当たり前のようにある下校時の見守りも、無理なく継続していくための方策を考えなければ、活動は続けられなくなってしまうかもしれません。

防災訓練も、大規模災害時の長期にわたる避難に備え、住民一人ひとりや各自治会の防災意識を高める必要があるでしょう。

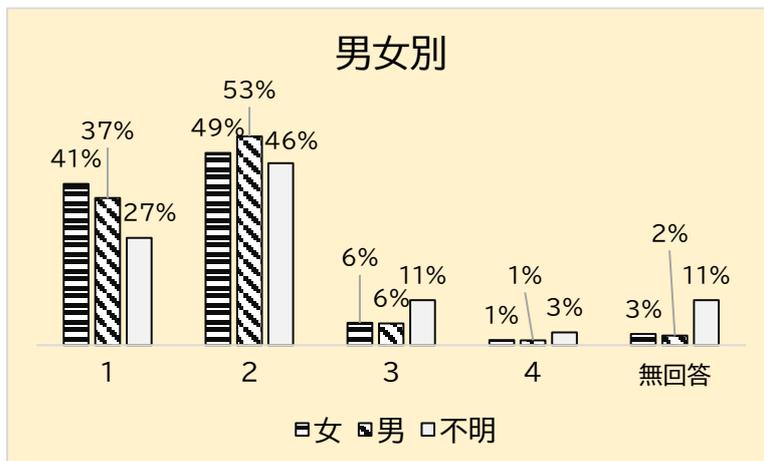
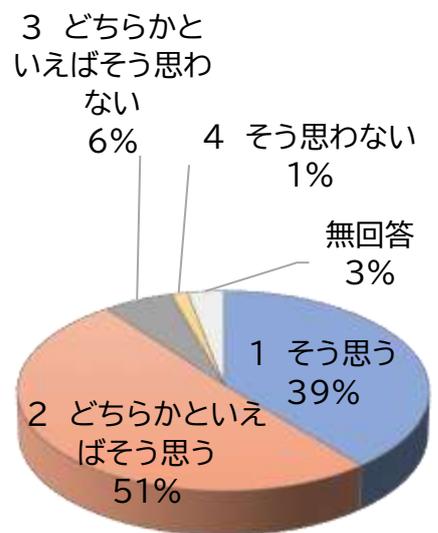
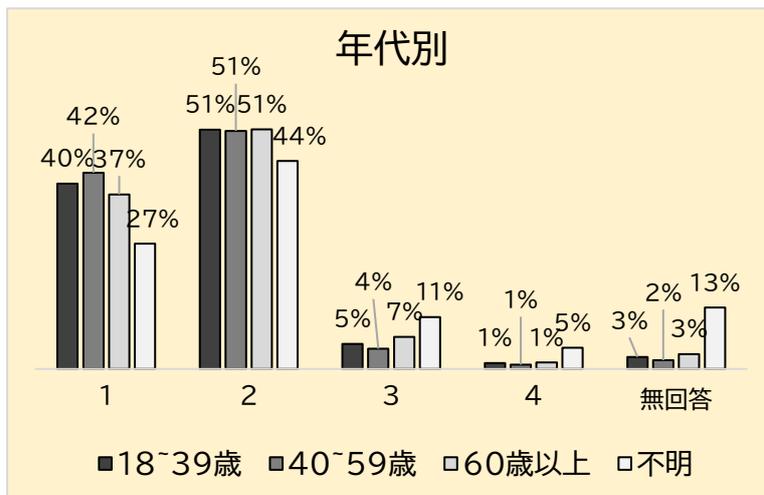
そのような中、地区自体が対策を講じていくためには、「今、何に手を打たなければならないか」「どのようにしたら、活動を継続できるか」を考え、実現に向けて計画的に取り組むことが必要となってきます。

(3)住民の意識 (アンケート結果より)

旭が丘地区では、今回のまちづくり計画の見直しに伴い、2023年(令和5年)10月に18歳以上の住民の皆さんを対象としたアンケート調査を行いました。(回収率46.6%)

アンケート結果のうち、主なものをここで紹介します。

➤ 旭が丘地区に住んで良かったと思いますか？

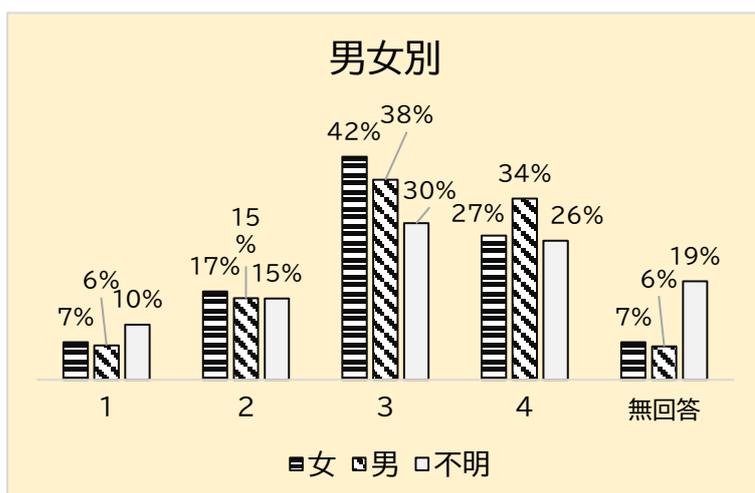
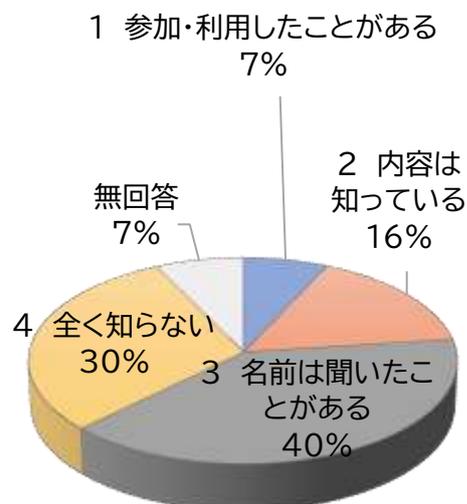
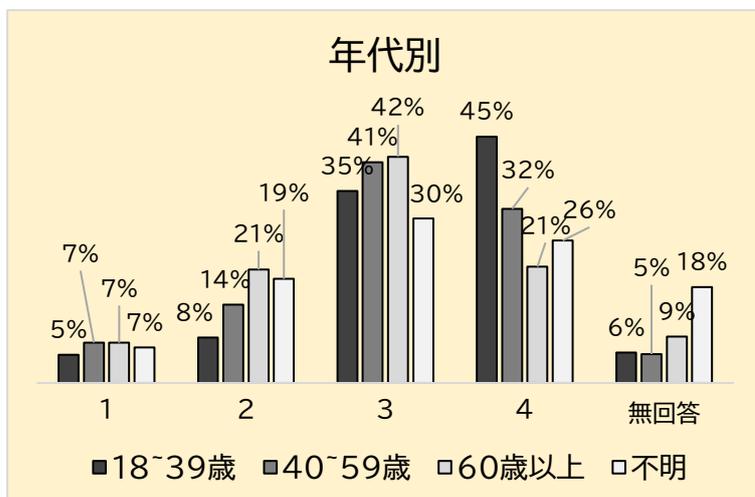


※【棒グラフ 横軸ラベル】
 1:そう思う
 2:どちらかといえばそう思う
 3:どちらかといえばそう思わない
 4:そう思わない

全ての年代・性別において「住んでよかった」「どちらかというよよかった」と考える方がほとんどという結果が得られました。一方で、「そう思わない」という方も少数ですがいらっしゃる事が伺えます。

しかし、前回のアンケートでは「そう思わない」と回答した方の割合が2~4%だったのに対し、今回は1%と全ての年代で減っており、少しずつですが旭が丘地区のよさを感じられるまちになってきているのではと推測されます。

➤ 旭が丘地区まちづくり協議会を知っていますか？

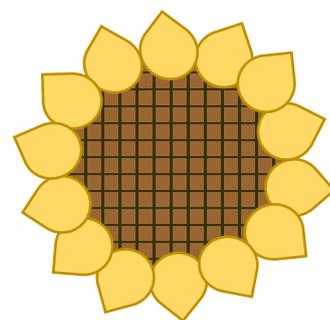


※【棒グラフ 横軸ラベル】

- 1:参加・利用したことがある
- 2:内容は知っている
- 3:名前は聞いたことがある
- 4:全く知らない

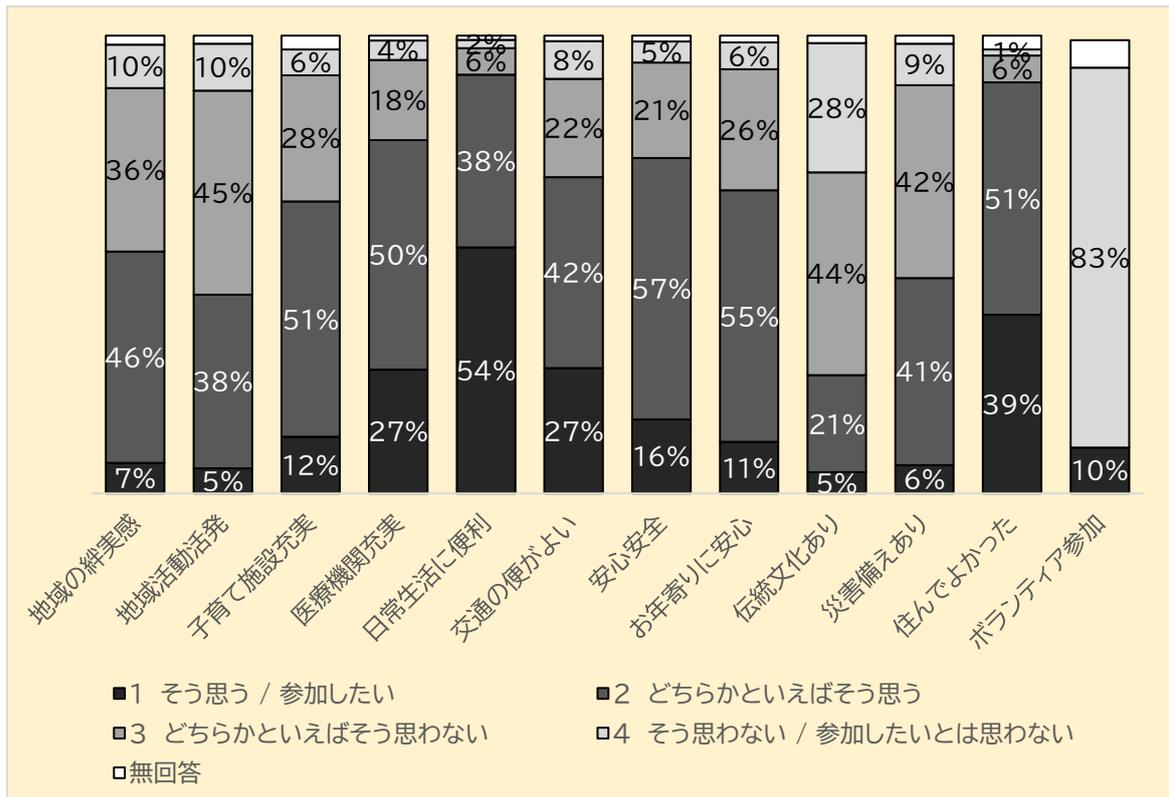
まちづくり協議会が発足し 6 年が経ちましたが、全体の 1 割に満たない方ほどしか実際に利用・参加したことがないというアンケート結果になりました。

しかし、各事業別の参加率を見てみると、盆踊り大会は 35%という高い値が出ており、旭まち協の事業と気づかず参加している方が多い現状が伺えます。



【住民の皆さんが思う旭が丘地区の姿】

➤ 旭が丘地区はどんなまちだと思いますか？



全体として、

【1位】日常生活(買い物など)に便利

【2位】医療機関が充実している

であり、回答者の9割の方が「住んでよかった」と感じていることが伺えます。

一方で、

【1位】祭りなどの文化・伝統がない(少ない)

【2位】地域活動が活発ではない

【3位】災害に対する備えが不足している

【4位】人情の豊かさや地域の絆があまり感じられない

など、身近な生活における気持ちの上での安心感や、具体的な備えの実感が薄いことが伺えます。

全体を通して、前回のアンケート時から大きな変化はありませんでしたが、それぞれの項目に注目すると次のようなことがわかりました。

「まち全体」については、スーパーや医療機関、学校等が身近にあり、きれいで閑静であることから、生活利便性は良いという声が非常に多くある一方で、バス停の遠さや、大きな医療機関や公共施設への直通バス路線のなさなど移動手段に関する不安の声や、道路の狭さや歩道の整備を求める声が多くありました。

「人」については、比較的穏やかでモラルが高く、適度な交流があって良いと感じる一方で、干渉しすぎない関係を望むなど、人と人の距離感に微妙な課題があることが伺えます。

「福祉や防災防犯」については、高齢者や子どもの見守りについて不安感が高く、交通安全対策も含めて取組が必要と感じている方が非常に多いことが伺えます。

「防災」については、不安感はあるながら標高が高い地形であるため安心と感じている傾向があり、これをどう捉えるかが課題と思われます。

「子ども」については、日頃の地域住民による見守り活動への感謝や安心感が高いことが伺えます。

「交通安全」については不安感が非常に高く、車等への対策のほかに子どもに対する教育の必要性についても声が多くあります。

(4) まちの宝物と課題(アンケート結果より)

アンケート結果を踏まえて、住みよい旭が丘地区づくりのための

「宝物」… これからも大切にしていきたいこと

「課題」… 困っていることや足りないこと

を、次のようにまとめました。

【宝物】

- ◇ 子どもが多く元気であること
- ◇ 買い物や移動に便利な生活環境
- ◇ 人と人との適度なつながり
- ◇ 地区内のふれあいや交流(主に盆踊り)
- ◇ 登下校時の見守りやあいさつ
- ◇ 教育施設の多さ

【課題】

- ◇ 道路の狭さや歩道の整備
- ◇ 子どもや一人暮らし高齢者等への見守り
- ◇ 増え続ける空き家
- ◇ 病院等への移動手段の確保
- ◇ 交通マナーの悪さ等への交通安全対策や防犯・防災面の不安
- ◇ 旭が丘公民館の老朽化と狭あい化

まちづくりを進めるにあたり、今ある「宝物」を生かして、良いところは伸ばし大切にしていくこと、「課題」はみんなで対策を考え、できるところから解決に向けて取組を始めることが、大切です。

《文化スポーツ部》

コロナ禍により中止となってしまった行事が多く残念に思っていたが、2023年(令和5年)に4年ぶりに開催できた盆踊り大会では、多くの住民の皆様に参加いただき、子どもたちの楽しみな姿や住民同士の交流が見られました。

ウォーキングやスポーツ行事も以前のように開催できるようになり、ボッチャ・テニポン・ドッチビーなど新しい競技にも積極的に取り組みました。

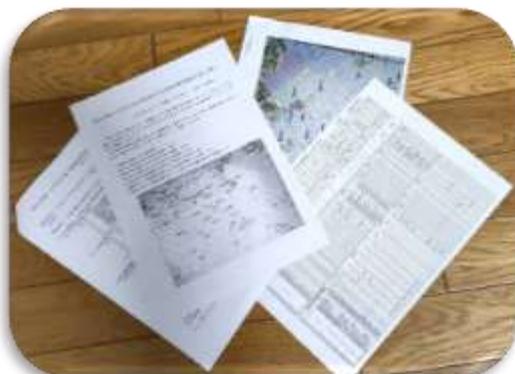


《安全部》

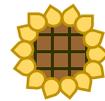
子どもたちの見守りは、ながらパトロール・登下校時の見守り・あいさつ運動など、自治会・PTA・民生委員児童委員等の協力のもと行ってきましたが、2020年(令和2年)には一部地域で「ゾーン30」の指定を受ける事ができました。

2023年(令和5年)には、関係団体にアンケートをお願いし、今後の活動に役立てていこうと考えています。

防災に関する活動の一環として2024年(令和6年)2月に「旭が丘地区防災心得」を各戸配布しました。

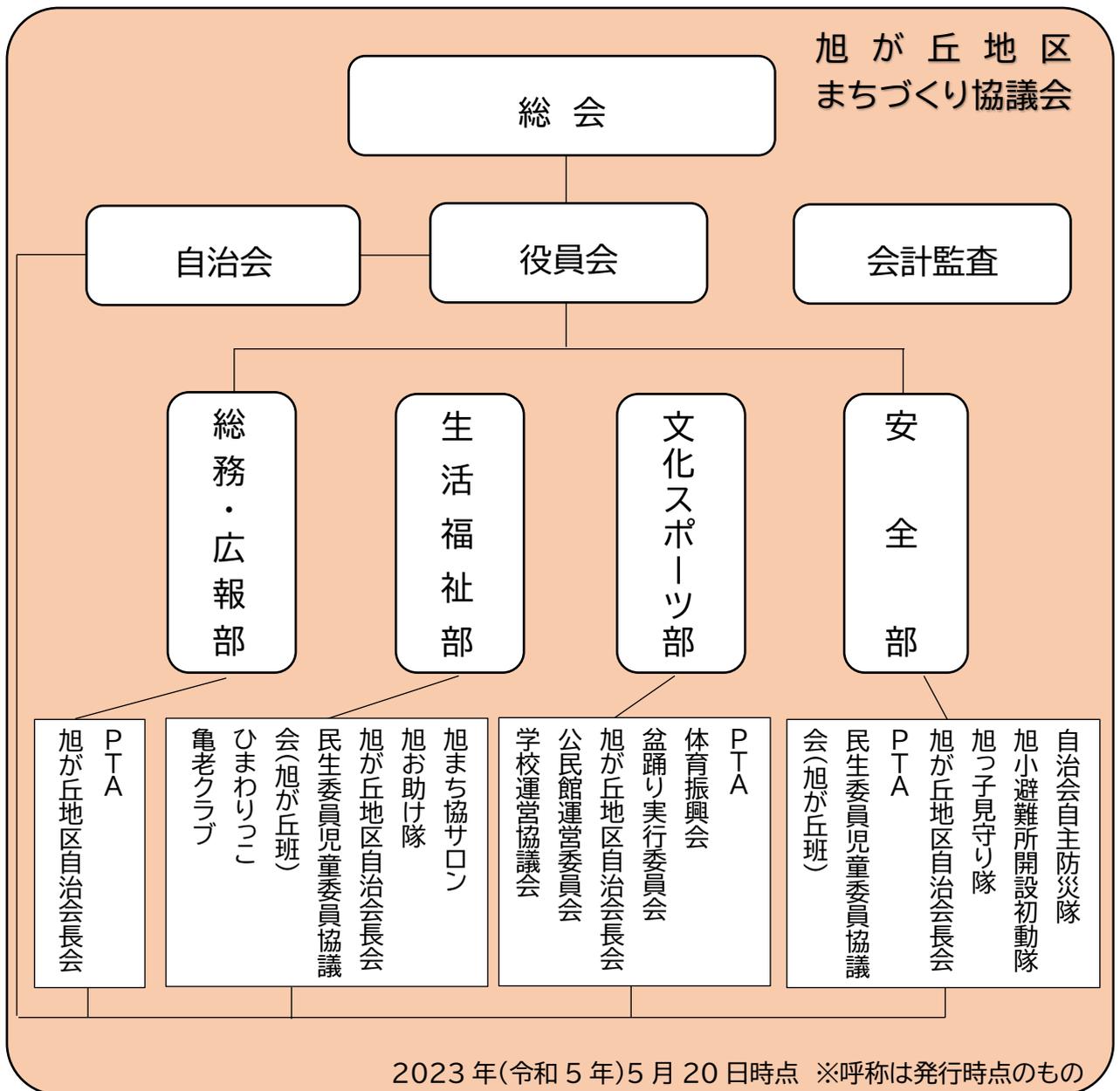


4 計画推進にかかる旭まち協の組織体制

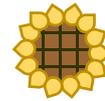


旭まち協は、小学校区を区域として、「住みよい旭が丘地区づくり」を目的に住民の皆さんや各自治会、各団体等がお互いに横のつながりをもって協力して活動するための組織です。

本計画の推進体制は下記のとおりです。3ページに掲げる目標の実現に向けて、みんなで知恵を出し合い、工夫し、お互い様の気持ちで、できるところから活動していきましょう。



5 各部会の目的・重点取組と活動方針



(1) 目的・重点取組

まちづくりを進めるにあたり、旭まち協の各部会は、住民アンケートや協議ワークショップ等を踏まえ、各部の目的と重点取組を掲げています。

総務・広報部	
部の目的	旭まち協の活性化を目指す
重点取組	① 広報力アップ
	② 地域計画の進捗管理と自治会長会との連携
	③ 渉外活動
生活福祉部	
部の目的	旭が丘の各団体と協議して、地域福祉の向上に努める
重点取組	① 住民の支え合いによる高齢者の生活支援活動
	② 旭が丘地区まちづくり協議会サロンの効果的な継続
	③ 災害時の要支援者対応
	④ 乳幼児がいる家庭の子育てサポート
文化スポーツ部	
部の目的	地域住民のふれあいを大切にするまちづくり
重点取組	① 盆踊り大会
	② 地域住民のふれあい
	③ 土曜学習活動による、児童と地域住民とのふれあい、まち協スポーツ大会(仮称)を実施
安全部	
部の目的	住民だれもが安全で安心してくらすことのできるまちをつくり、地域の宝である子どもを地域全体で健やかに育てていく
重点取組	① 防犯に関する活動
	② 交通安全に関する活動
	③ 学校との連携活動
	④ 防災に関する活動

(2)4年間(2024~2027年度)の活動方針

2023年(令和5年)10月に行ったアンケートを基に、2024年度(令和6年)からの4年間の各部会の重点取組を進めていくための方策について、2023年(令和5年)12月に協議会の構成団体の参加による地域計画策定ワークショップを行いました。

その内容を踏まえ、旭が丘地区のまちづくりを推進するための活動方針として、主な内容をまとめました。

今後は、この方針に基づき、人と人、団体と団体など、つながりや連携を大切にしながら、住みよい旭が丘地区づくりに向けて、旭まち協を中心に住民自らの力で、できるところから検討や活動を進めていくものとします。

また、本計画を進めていくにあたり、年度ごとに取組内容を検証し、役員会の承認をもって見直すことができるものとします。

旭が丘地区まちづくりアンケート

旭が丘地区まちづくり協議会が設立し6年、また令和2年度に策定した「まちづくり計画」に取り組み4年が経ちました。ここで改めて、住民の皆さんのご意見をお聞きし、今後のまちづくりに生かしたいと考え、アンケート調査をお願いすることとしました。

お寄せいただいた意見をもとに「旭が丘地区まちづくり計画 2024」を策定し、旭まち協の取組みを検討します。お忙しい中、恐れ入りますが、以下および裏面の設問にお答えください。

- ◆ このアンケートは、**1世帯1枚**です。
ご家族のうち、**18才以上の方全員**のご回答をお願いします。
- ◆ 回答者全員の年齢と性別をご記入ください。
- ◆ 各設問について、当てはまる番号に○印をつけてください。
- ◆ 設問への回答は、回答いただく個人としての意見をお書きください。
- ◆ 設問は用紙の裏面にもあります。

経費削減、集計の作業時間短縮、正確性向上などを期待し、今後、まちづくり協議会が行う各行事への募集や参加申し込み等にQRコードを利用したオンライン化を検討しています。そこで、どのくらいの住民がこの方式で参加できるのか把握するため、お手数ですが**各自のスマートフォンから下配コードの読み取りができた方がご家庭に何人いらっしゃるか**教えてください。

※こちらからアンケートへの回答はできません。回答はこの書面をお願いします。

世帯

人中

人が読み取れました

<https://forms.gle/ExFsQ6bapLJm6R6p7>

<お問い合わせ先>
旭が丘地区まちづくり協議会 会長 090-1723-8356
または、
旭が丘地区まちづくり協議会 お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/wdVnwDkYyX2z2maD7>

1/5

総務・広報部

目標『旭まち協の活性化を目指します』

重点取組① 広報力アップ

内 容

小学校PTAと連携し、地域活動に関する情報をまとめて発信するなど、地域の様々な活動をわかりやすく伝えるとともに、まちづくりへの関心を高め、子どもから大人まで幅広い世代に親しんで読んでもらえるような広報紙づくりを目指します。

重点取組② 地域計画の進捗管理と自治会長会との連携

内 容

各部会の進捗管理と部会間連携を促すとともに、自治会長会との連携を強化し、まちづくり活動の促進を図ります。

重点取組③ 渉外活動

内 容

小学校PTAと旭まち協各部のつながりを強化し、小学校を中心としたまちづくりの推進を目指します。

また、旭まち協の事務局体制を整えます。

《総務・広報部》

重点取組	① 広報力アップ			
活動方針	小学校 PTA と連携し広報活動を強化する			
期待する効果	小学校 PTA 活動を含めた地域活動に関する情報を把握し、幅広い年代に親しまれる広報紙を作成することで、学校と地域の連携によるまちづくりを進めることができる。			
連携する部会等	小学校 PTA、全部会			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
取り組み予定	<p>◆年間行事おしらせカレンダーの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトの検討 ・デジタル化の検討(ホームページ等でいつでも見えるようにする) <p>◆広報紙の記載内容の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が欲しい情報の発信及び、レイアウトの見直し ・デジタル化の検討(ホームページ等で何時でも見える様にする) 	<p>◆年間行事カレンダーをホームページで見られるよう、デジタル化を実施する</p> <p>◆まちづくり協議会各部の活動を分かりやすく伝える紙面作り</p> <p>◆地域のいろいろな情報を収集し紙面づくりに反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙をホームページ紙見られるよう、デジタル化を実施する 	<p>◆問題、課題を洗い出す</p> <p>◆他地域との交流を計り、良いところを取り入れる</p> <p>◆ホームページの問題、課題を洗出す</p>	<p>◆問題、課題を解決し、定着を図る</p> <p>◆問題、課題を解決し、定着を図る</p>

《総務・広報部》

重点取組	② 地域計画の進捗管理と自治会長会との連携			
活動方針	各部会の進捗管理と部会間連携を促すとともに自治会長会との連携を強化し、まちづくり活動の促進を図る			
期待する効果	各部会の事業執行状況を踏まえ、事業計画実施にかかる見直しや調整を図り、活動の改善や活動しやすい組織体制の構築を進めていくことができる。 自治会長会との連携により地域一体となった取組を促進していくことができる。			
連携する部会等	全部会、自治会長会			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
取り組み予定	◆アンケート結果の分析 ・「旭が丘地区まちづくり計画 2024」を全戸に配布する	◆問題点の改善への取組 ・アンケートでの要望、改善項目等を各関係部門で取り組む(市・自治会・まち協) ・アンケート項目の検討(前回アンケートの改善点を反映)	◆アンケートを実施する	◆アンケート結果の検証からワークショップを開催し、「旭が丘地区まちづくり計画 2028」を全戸に作成・配布する

《総務・広報部》

重点取組	③ 渉外活動			
活動方針	小学校 PTA と旭まち協各部とのつながりを強化し、活動の連携を図るとともに、事務局体制を整える			
期待する効果	<p>小学校 PTA と旭まち協各部が連携することにより、旭まち協による小学校 PTA サポート体制が生まれるとともに、小学校と地域との連携が強化されることが期待できる。</p> <p>また、事務局体制により役割分担が明確になり、事務手続き等が円滑になることが期待できる。</p>			
連携する部会等	小学校 PTA（保護者部・安全部・広報部）			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
取り組み予定	<p>◆小学校及び PTA との意思疎通を密に行い事業の整合性を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容を決める ・PTA 各部が関連する部会の会議に出席し情報を共有する <p>◆事務局体制を稼働</p>	<p>◆旭まち協と小学校 PTA とで事業を実施する</p> <p>◆事務局体制の見直し</p>	<p>◆問題、課題を洗い出す</p> <p>◆事務局体制の改善</p>	<p>◆問題、課題を解決し、定着を図る</p> <p>◆事務局体制の定着</p>

生活福祉部

目標『旭が丘の各団体と協議し地域福祉の向上を目指します』

重点取組① 住民同士の支え合いによる高齢者の生活支援活動

内 容	旭お助け隊の活動を長く続けるために、活動の一層の充実と満足度の向上を図ります。
-----	---

重点取組② 旭が丘地区まちづくり協議会サロンの継続

内 容	サロンのネットワークを構築し、サロン事業を充実させ、高齢者の健康的な日常生活をサポートします。
-----	---

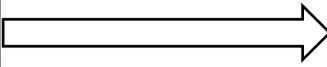
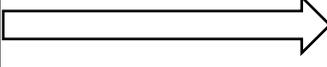
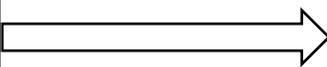
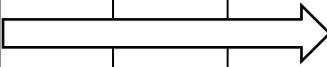
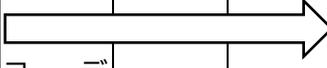
重点取組③ 災害時の要支援者対応

内 容	災害時を想定し、支援が必要な方への対応を準備していきます。
-----	-------------------------------

重点取組④ 乳幼児がいる家庭の子育てサポート

内 容	お子さんの成長が実感でき、子育て情報を共有できる場を提供していきます。
-----	-------------------------------------

《生活福祉部》

重点取組		① 住民同士の支え合いによる高齢者の生活支援活動				
活動方針		「旭お助け隊」活動の充実と住民の満足度の向上を図る				
期待する効果		助け合いや支え合いの活発な地域になる				
連携する部会等		社会福祉協議会、第7包括支援センター、自治会長会、長寿社会課、伊勢マリンホーム、民生委員児童委員協議会(旭が丘班)				
課題	実行計画	計画年次				期待する効果
		2024	2025	2026	2027	
支援会員の満足度の向上	◆支援会員の会合を定期的に実施する	・定期的な集いの場を提供する ・支援会員から課題を吸い上げ、改善し実行する	 集いの場の回数・頻度は状況に応じて調整する			日常の繋がりやコミュニケーションが進む
利用会員の満足度の向上	◆利用会員の集まりを定期的に実施する	・定期的な集いの場を提供する ・利用会員の期待すること、困っていることの課題を収集し改善に繋げる	 集いの場の回数・頻度は状況に応じて調整する			交流が進み、支え合いに発展する機会が増える
	◆付添支援者については女性の増員を図る	・広報紙の発行回数や内容を再検討する ・関心を向けてもらえる広報の手段を検討する ・HP や SNS、新聞等を活用				
	◆自治会との連携を強める	・自治会のモデル地区を設定し、近隣住民が支援に参加できる仕組みを作る(ケーススタディ)	モデル地区の活動を各班に広げる			
支援者の輪を広げる	◆支援会員を手助けできる制度の構築	・ボランティアの希望者を募る ・チラシを作成・設置し、募集 ・HP や SNS、新聞等を活用	コーディネート方法を検討			支援の輪を広げることで、助け合い・支え合いが活発な地域になる

《生活福祉部》

重点取組	② 旭が丘地区まちづくり協議会サロンの効果的継続			
活動方針	サロン活動を通して、参加者の健康を維持し有意義な日常生活をサポートする			
期待する効果	家庭内 → 自分の足で会場へ参加 → 楽しいひととき 介護予防(健康維持)につながる			
連携する部会等	長寿社会課、社会福祉協議会、第7包括支援センター			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
取り組み予定	◆地区内サロンネットワークの構築	◆期待されるサロンの姿を検討	◆1, 2年目を生かした活動	◆充実したサロン活動を通じた、参加者の満足度向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有と課題の洗い出し(旭が丘地区内) ・地域格差を知るために、参加者の分布を知る ・サロン開催のPR活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数、会場、演目は適切か ・他地区への勉強会 ・参加者を対象としたアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動を継続させるスタッフの確保 ・リーダーの確保と養成 ・対策は効果的だったか検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの認知度向上(全く知らない方の割合 66%⇒50%) ・これまでの検討結果を基に、次年度に繋がる活動を検討

《生活福祉部》

重点取組	③ 災害時の要支援者対応			
活動方針	災害時支援が必要な方がいること、そしてその対応について関心を持ってもらうことを目指す			
期待する効果	災害時に支援が必要な方を見逃さず、災害に負けないまちづくり			
連携する部会等	自治会長会、安全部			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
取り組み予定	◆取組体制を整理	◆提供ノウハウの準備	◆提供方法の検討	◆地域からの要望を受け、ノウハウを提供する
	<ul style="list-style-type: none"> ・取組リーダーとメンバーを決める ・取り組み内容の具体的な検討 ・防災への意識づけ(講演会など利用) ・自治会への働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災への意識づけ(講演会など利用) ・自治会への働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災への意識づけと自治会への働きかけを継続 ・具体的な提供方法を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災への意識づけと自治会への働きかけを継続 ・実際に提供できる状態を整えておく

《生活福祉部》

重点取組	④ 乳幼児がいる家庭の子育てサポート			
活動方針	子育てがしやすいまちづくりを目指す			
期待する効果	身体測定により成長を実感できる。子育ての楽しさや辛さなどを同じ境遇の親子らと共有することで、旭が丘での子育てに心強さを感じてもらえる。			
連携する部会等	保健師(鈴鹿市)			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
取り組み予定	◆活動をさらに活発化する	◆活発化させた活動の定着を図る	◆活発化させた活動の定着を図る	◆活動を定着させる
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数は4回から6回へ ・スタッフの充実を図る ・広報が行き届いていない箇所へのPR方法を検討 ・白子地区内での保健師派遣回数の調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回の開催をキープ ・スタッフの充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回の開催をキープ ・スタッフの充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回の開催をキープ ・スタッフを10名に増員

文化スポーツ部

目標『地域住民のふれあいを大切にするまちづくりを進めます』

重点取組① 盆踊り大会

内 容	盆踊り大会の実施を通じて、子どもからお年寄りまで多世代にわたる地域住民同士のふれあい・つながりアップを目指します。
-----	---

重点取組② 地域住民のふれあい

内 容	だれもが手軽に取り組めるウォーキングを通じて、住民同士の交流と健康増進を図るとともに、旭が丘の魅力の発見へのきっかけをつくります。
-----	---

重点取組③ 土曜学習活動による児童と地域住民とのふれあい、まち協スポーツ大会(仮称)の実施

内 容	スポーツ等を通じて、多世代の交流と、楽しみながらの健康づくりを目指します。
-----	---------------------------------------

《文化スポーツ部》

重点取組	① 盆踊り大会			
活動方針	地域住民のふれあいアップを図る			
期待する効果	恒例となっている盆踊り大会を実施することにより、子どもから高齢者まで多世代にわたり楽しみながら住民同士のふれあい・つながりを深めていくことができる。			
連携する部会等	全部会、自治会長会			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り大会の実施(2日間) ・2日間のゲストを分散する(白子中学校吹奏楽部・フリーダムのダンス) 小学生のポスター掲示について場所や方法を検討する 			



《文化スポーツ部》

重点取組	② 地域住民のふれあい			
活動方針	ウォーキングでふれあいアップを目指す			
期待する効果	手軽に取り組めるウォーキングによって、住民交流・健康増進・まちの魅力発見につなげることが期待できる。			
連携する部会等	全部会、自治会長会			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
	◆ウォーキング 2024 ・距離や対象者を検討する ・ゲームの実施に向けて検討する	◆ウォーキング 2025 ・距離や対象者を検討する ・ゲームの実施に向けて試してみる	◆ウォーキング 2026 ・距離や対象者を検討する ・ゲームの実施に向けて試してみる	◆ウォーキング 2027 ・目的地でのゲームを実施する



《文化スポーツ部》

重点取組	③ 土曜学習活動による児童とのふれあい、まち協スポーツ大会(仮称)を実施する			
活動方針	スポーツ等を通じて地域住民のふれあいを目指す			
期待する効果	多世代の交流と、楽しみながらの健康づくりにつなげることができる。			
連携する部会等	全部会、自治会長会、PTA			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
	<p>◆スポーツ行事 2024</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち協スポーツ大会(仮称)を企画する。 競技種目・参加者の把握方法 ・本年は、従来同様のスポーツ行事を開催する 競技種目・参加者の把握方法の検討 	<p>◆スポーツ行事 2025</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち協スポーツ大会(仮称)を試してみる ・参加者把握 ・競技方法の検討 	<p>◆スポーツ行事 2026</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち協スポーツ大会(仮称)を試してみる 	<p>◆スポーツ行事 2027</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち協スポーツ大会(仮称)を実施する
	<p>◆クリーン旭が丘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的の明確化(小学校土曜学習の一貫ではあるが、学校だけの事業ではない) ・催し物を検討する(餅つきなど) 	<p>◆クリーン旭が丘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的の明確化 ・催し物実施してみる 	<p>◆クリーン旭が丘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的の明確化 ・催し物実施してみる 	<p>◆クリーン旭が丘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的の明確化 ・催し物実施してみる

安全部

目標『住民だれもが安全で安心してくらすことのできるまちをつくり、地域の宝である子どもを地域全体で健やかに育てていきます』

重点取組 ①+②+③ 防犯・交通安全に関する活動、学校との連携活動

内容

小中学校と地域が「まちの安全」を目的に、みんなで子どもたちを守るとともに、子どもたちの健やかな成長へのサポート体制づくりを目指します。

重点取組④ 防災に関する活動

内容

自治会や各団体・各委員の防災意識の向上と連携強化を図るため、旭が丘地区防災計画の策定を目指します。

《安全部》

重点取組	①+②+③ 防犯・交通安全に関する活動、学校との連携活動			
活動方針	みんなで「まちの安全のための見守り」に取り組む			
期待する効果	小中学校と地域が目的を共有し、子どもの見守りや交通安全に取り組むことで、子どもたちの成長を支える。さらに、まち全体の防犯力の向上にも期待できる。			
連携する部会等	自治会長会、各団体、全部会			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
取り組み予定	ゾーン30プラスの意見を出し合おう	ゾーン30プラスを申請しよう	ゾーン30プラスを整備しよう	ゾーン30プラス始動
	<ul style="list-style-type: none"> ◆各団体で見守り挨拶活動を継続 ◆みんなで「ながらパトロール」に取り組む ◆自治会で、のぼりや腕章を啓発に利用 ◆ゾーン30プラスの整備内容を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◆見守り・あいさつ活動の活性化の検討 ◆ながらパトロールの活性化の検討 ◆のぼりや腕章の積極的な仕様の検討 ◆ゾーン30プラスの整備内容を行政と協議 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各団体の活動を行いつつ + ◆「旭っ子見守り隊」として、効果的な取り組み方法を検討 ◆ゾーン30プラスの整備を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各団体・ながらパトロール・自治会 + 「旭っ子見守り隊」による、交通安全&防犯活動 + ゾーン30プラスの運用開始 ◆みんなで交通安全&防犯活動に幅広く取り組もう

《安全部》

重点取組	④ 防災に関する活動			
活動方針	みんなで「旭が丘地区防災訓練」に取り組む			
期待する効果	住民や自治会、各団体が参加する、旭が丘地区全体の防災訓練を実施することで、住民の防災意識の向上と地域全体の防災力の高まりを期待することができる。			
連携する部会等	自治会長会、各団体、全部会			
実行計画				
計画年次	2024	2025	2026	2027
取り組み予定	防災の関心を高めよう	旭が丘地区で防災訓練を試みよう	地区防災計画を見直そう	旭が丘地区で防災訓練を試みよう
	◆各団体で小さな防災活動を試みる	◆自治会、各団体の協力のもと旭が丘地区防災訓練を実施する	◆防災活動を継続しつつ + 防災訓練の振り返りをしよう	◆隔年で旭が丘地区防災訓練を実施する
	◆自治会で自主防災活動に取り組む		◆防災訓練をもとに地区防災計画を見直す	◆地区防災計画の改定版を作成する
	◆初動隊で自主防災活動に取り組む			
	◆安全部で防災訓練の計画を練る			

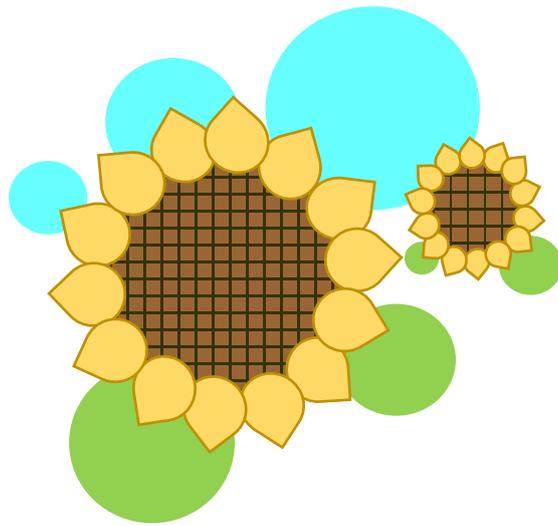
=== 地域計画策定ワークショップの様子 ===





=== 各事業の様子 ===





発行

旭が丘地区まちづくり協議会
総務・広報部